



認定看護師だより

認定看護師会



感染管理 認定看護師 前竹明美

今回は感染対策の基本に立ち帰る意味で標準予防策について示し、標準予防策の一つである環境処置について取り上げます。

標準予防策を構成する要素

手指衛生	環境処置	呼吸器衛生・咳エチケット
個人防護具	リネンと洗濯	安全な注射手技
患者ケア器具 および 器材・機器	血液媒介 病原体対策	特別な腰椎穿刺 手技のための 感染制御策
	患者配置、 患者の移送	

環境整備のポイント

● **清掃しやすい環境**を整えることが重要

日常的に清掃が必要な場合

● ベッド柵やドアノブなどの**高頻度接触表面**は、**1日1回以上**の**清拭・清掃**を行う。



消毒が必要な場合

● 壁や床からの感染はまれであるので、消毒は不要。
● 血液などによる汚れがある場合は、消毒を行う。



当院では通常、洗浄効果もある第4級アンモニウム含有、環境クロスを用いて患者さんのベッドサイド清掃を行っています😊

くまもと県北病院「外来化学療法室」を紹介します

がん化学療法看護認定看護師 廣川玲奈

当院2階に外来化学療法室があります。窓が大きな開放的な空間に、ベッド2床、リクライニングチェア10台を設置しています。看護師3名で、外来の患者さんに対してがん薬物の投与を行なっています。また、薬剤師1名も患者さんに声をかけ、薬剤の変更など医師へ提案を行っています。院外の薬局や訪問看護ステーションと連携、チーム医療の充実も注力しています。治療を行う過程のなかで、患者さんの置かれた状況は変化していきます。治療による副作用の出現や、治療の効果によっては薬物療法を中止せざる得ない状況もあります。患者さんの身体状況や治療効果などから、先を見越した視点をもって継続的にチームで関わっています。そして、外来治療の不安を軽減できるように退院時オリエンテーションを実施しています。内容は、外来治療の流れ、

受付→検査など→診察（各科外来）→外来化学療法室・点滴→会計→お薬の順となり、場合によっては順不同となることを説明しています。



患者さん自身の症状が、病院へ連絡するか迷うことがあります。異常の早期発見のため、伝えなければならない症状と病院へ連絡するタイミング、症状の伝え方、具体的な連絡先などについてもパンフレットを用意して説明をしています。

虹がかかり、患者さんと喜びました！



ご家族の待合室です。パスBOXに薬剤師が調整し払い出します